

鶴岡地域の平田集落で農業を営んでいる五十嵐勇輝さんは、新潟大学を卒業後、平成14年に就農し、平成27年より経営移譲されて2年目になる経営者で、妻と子供二人（一男一女）、両親、そして祖父母と四世代同居

加入しています

農業者年金

鶴岡 平田
五十嵐 勇輝さん
(38歳)



の大家族です。

農業経営は水稲640ア、枝豆120ア、砂丘畑大根の加工と手広く、そのうち水稲部門では経営面積の約半分を有機栽培で、残りを減農薬による特別栽培で生産しています。有機栽培では合鴨や紙マルチによる除草対策を行っています。キツネやカラスなどの合鴨の外敵も多く、毎年苦労しているそうです。また紙マルチも強風等ではがされやすいため、田植えには時間をかけて丁寧に植える必要があるなど、慣行栽培と異なる点が多い有機栽培ですが、地域の農業者の理解や協力をいただき、今年も無事に収穫をむかえることができ、本当に感謝しているそうです。

農業者年金の魅力

「農業者年金は積立による安定と安心感があるので、リスクの高い経営も、より強気に行えて心強いです。また税制面でも優遇措置が

あるし、私の場合は3割の国庫補助を受けられることは大きなメリットです。さらに自分の積立情報も毎年しっかりと確認でき、運用も安定していて信頼感があります。付与利率についても同様で、農業者年金に大きな信頼を寄せています。」と勇輝さんは話してくれました。

勇輝さんの経営は30年問題やTTP問題にも対応できる強い経営と思われるし、農業に対する姿勢からは、地域の担い手としてこれからも活躍して下さるものと心強い思いがしました。
(農業委員 鈴木 裕)



農業委員会では『アグリランドバンク』で新規就農者を支援します。

『アグリランドバンク』は、新規就農者が農地を確保することはたいへん難しいことから、農地確保の手助けをしようとする事業です。

○具体的には、「希望があれば農地を提供してもよい。」と言ってくれる経営体（新規就農者支援農業者）と、貸してくれる農地を探している新規就農者を仲介して農地の貸し借りを進めようとするものです。

○対象者は、親元就農者を除く認定新規就農者（※）です。詳しくは農業委員会のホームページ（鶴岡市公式ホームページ内）をご覧ください。農業委員会事務局へお問い合わせください。

（※認定新規就農者とは、営農計画を作成し市の認定を受けた新規就農者のことをいいます。）

○新規就農者の育成にご理解をいただき、下記の経営体のみなさんから新規就農者支援農業者に登録していただいております（11月末現在、敬称略）、これからも登録していただける方をお待ちしております。

- (有) 鶴岡協同ファーム (鶴岡・民田)
- (有) 田和楽 (藤島・小中島)
- 井上農場 代表 井上 馨 (藤島・渡前)
- (農) あさひの輝き・まんてん (朝日・東岩本)
- (株) アシスト (鶴岡・本田)
- 上新田農事組合法人 (藤島・上新田)
- (株) ハグロファーム (羽黒・川代)
- (株) あつみ農地保全組合 (温海・湯温海)

○みなさんのお近くに、「農業を始めたいが、農地をどうしたらよいか・・・」とお悩みの方がいらっしゃいましたら、「こんなのがあったよ」とご紹介いただければ大変ありがたいです。